

消防団の主な活動

人口減少や高齢社会において、「地域力」の重要さは増えています。しかし、地域での行事の減少などにより、子育て世代の関係性は特に希薄化しています。子育て世代の活動の1つとして消防団があります。消防団員はそれぞれの活動を通じ、地区を越えた仲間との絆を強めています。

救命講習会 (6月)

今年は嵐丸ひろばで、乳幼児向けの人工呼吸法などの救命講習会を行いました。



夏期訓練 (7月)

放水訓練や女性団員による救急救命講習会などを行います。



特別点検 (11月)

消防操法など訓練成果を披露します。約4か月におよぶ訓練を行う部もあります。息の合った操法は必見です。



文化財 防火訓練 (年1回)

今年は日本赤十字社埼玉県支部旧社屋で訓練を行いました。



防災訓練 (通年)

各地区で行われる防災訓練に参加します。消火器の取り扱いなどを住民の方に説明します。

定例 (毎月2回)

消防車両による火災予防広報、放水訓練、情報交換などを行います。

防火パレード (3月)・歳末 警戒(12月)

消防車両による火災予防広報を行います。また、12月から3月までの火災多発期は集中して予防広報活動を行います。

住宅用火災 警報器の 普及活動

各家庭を回り、火災警報器の重要性や取り扱い説明、設置状況の調査などを行います。

問合せ 地域支援課 ☎62-2152

団員(町内勤務)



飯嶋 浩司 第2分団第2部(班長)
入団 10年目
勤務先 大同精密工業(株)
(花見台工業団地)

勤務先 総務担当

消防団の経験を活かし社内で活躍

社内の防災訓練では、消防団の経験を活かしリーダーシップを発揮していただいています。消防団に入っている社員が、地元の消火活動に参加することで会社としても地域貢献になります。これからも活躍していただきたいと思います。

唯一の青年コミュニティ

入団前、「自分の時間が少なくなる」と思いましたが、知り合いの団員に誘われたこともあり入団しました。大人になると親世代のコミュニティはあっても、自分たち世代の交流はないように思えます。その中で、消防団という地域に溶け込んだコミュニティがあり、その輪に入ることで、地域での顔見知りが増え、地域にでることがおっくうではなくなりました。

特別点検は、時間をかけ必死で練習します。大人がみんなで一生懸命になる珍しい機会です。一生懸命走るおじさんたちをぜひ見に来てください。

火災は発生しないのが一番です。今後も予防消防に努めるとともに、いざというときに力を発揮できるように日々訓練していきたいです。

7月から2名の団員が 加入しました(敬称略)

第1分団第1部

福島 啓太



嵐山町は生まれ育った思い出深い町です。役場職員として以外でも、この町の安全と安心の支えになりたいと入団を決意しました。

第2分団第1部

青木 亨



団員である叔父からの誘いもあり、前から興味のあった消防団に入団しました。団員の方々と団結して消防活動に取り組みたいと思っています。

充実した時間を共に過ごす 仲間を見つけないか

消防団の活動は重要であると認識しているものの、実際に「自分が、我が子が」となると話は別。ということが多くようです。団員の話にもありますが、正直、消防活動にさく時間は少ないです。ただ、同じ仲間と過ごす日々やかけがえのない時間、それは地元で暮らすときに役立ちます。地

域防災という地域貢献に興味のある方、仲間作りの場を求めている方、ぜひご連絡ください。
11月17日(日)に特別点検が開催されます。団員の日々の練習の成果をぜひ見に来てください。
問合せ 嵐山分署 ☎62-3890